

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		06 03 02	中期総合計画主要施策番号		1-03、5-06		担当課	部・課	環境部 生活排水課	
事業名		農業集落排水事業 (公共[下水道])				内線		3377		
						E-mail		seikatsuhaisui@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・農村地域において、し尿・生活雑排水等を処理する施設を整備し、農村生活環境の改善と農業用排水及び公共用水域の水質改善を図る。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・農業集落排水施設の整備は順次進んでおり、農村生活環境の改善と公共用水域の水質改善が図られている。しかし、施設の一部は耐用年数が経過し、老朽化が進んでいる。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・生活環境の改善が遅れている農村地域の整備を進めていくとともに、施設の改築や更新も必要であるが、市町村の財政状況が厳しい状況にあり進まない状況にある。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・未整備区域の整備を行うと共に、処理施設の機能の長期的な安定を確保するため、老朽化が進行している処理施設の改築や更新を計画的に進め、公共用水域の水質の改善、水質保全を図る必要がある。								
		事業内容 農業振興地域内の農業集落で、市町村が行う汚水処理施設・管路施設・資源循環施設の整備又は改築(補助率【国】50%【市町村】50%)								
		実施期間 S56 ~ 根拠法令等 農業集落排水資源循環総合補助事業実施要綱								
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
農業集落排水施設を整備し、農村生活環境の改善と農業用排水及び公共用水域の水質改善を図る。(平成24年度までに汚水処理人口普及率を97.2%(うち農業集落排水事業を10.8%)とする。)		・農業集落排水施設を整備し、平成24年度の目標達成に向け、農業集落排水事業に係る汚水処理人口普及率を10.6%まで増加させる。 ・老朽化施設7箇所の更新・改築を行う。			・農業集落排水事業に係る汚水処理人口普及率は、平成20年度末10.5%で概ね期待どおりの成果があり、平成24年度の目標達成に向けて順調に推移している。 ・老朽化施設の更新・改築について、予定どおりに実施。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	451,883	163,550	64,292	国庫・県単 公共			
	決 算 額 (B)		千円	389,703	225,730		実施方法 補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	24,579	8,299	1,594	歳出節別 予算現額(最終予算額) 163,550千円			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	2.00	2.00	2.00	内訳等 (単位: 千円) 1地区当り平均工事期間 2.8年			
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	389,703	225,730	64,292				
事業実績	内 容		単位		20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	事業実施地区数		地区	10	11	3	20年度完了地区数 9地区			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・新規の施設整備はほぼ終了し、今後は機能強化、施設の更新へのニーズが移行していく。 ・事業効果の早期発現のため、今後も関連市町村と連携し、一層の重点化、コスト縮減等、効率化を図っていく。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・概ね期待どおりの成果が得られている。また、汚水処理人口普及率も平成24年度目標10.8%に対して10.5%となった。今後は、年々増えつつある施設の改築(機能強化事業)への対応を図っていく必要がある。							